

## 第6回日本アルゼンチン親善サッカー大会 2022 開催

渡部 千秋

日本とアルゼンチンの友好を深めようと、2年毎に開催している小学生のサッカー大会が11月13日に日本アルゼンチン協会とアルゼンチン共和国大使館の共催、三菱商事の後援で三菱養和会巣鴨サッカーグラウンドで開催された。

12年目を迎える今大会は、コロナ下で延期されていたが、特に今年はサッカー・ワールドカップの年で児童のサッカー熱も盛り上がり、アルゼンチンと長い交流の歴史を持つ茨城県境町長田小学校を中心にアルゼンチンと関係をもつ各チームからも参加への熱い希望があり、児童、父兄、関係者合わせて200名を超える参加者が、久しぶりに、清々しい空気の中で、一日元気にサッカープレイを楽しんだ。

大会は、長田小を中心に、BOCAジュニアジャパン、レナートサッカークラブ、三菱養和会チーム等何らかの形で、アルゼンチンと関係を持つチームの小学生が総当たり制で試合を楽しんだ。

境町長田小は、幕末のペリー来航時に同行したアルゼンチン人モンテネグロと境町（旧関宿藩士）の野本作次郎の親交以来、現在に至るまで、長い交流の歴史がある。

アルゼンチン共和国カンポイ臨時代理大使も、寄贈の大使杯トロフィーを授与され、「皆さんの躍動する姿に感動し、心に残る大会になった。これからもこのサッカー大会を始め、両国の素晴らし関係を深めて行きましょう」との挨拶があった。

当協会としても、次世代の子供たちの日亜交流をサポートすべく、今後共尽力する所存です。



サッカーの試合（長田小—BOCAジュニア）



大使からの優勝カップ授与



全員集合

（わたなべ ちあき 当協会常務理事）